



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



2020年11月19日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

10、11月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の10、11月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

高橋 周平
(中日ドラゴンズ)
初受賞

高橋選手は、10月15日(木)ナゴヤドームで行われた対阪神タイガース21回戦、1点ビハインドで迎えた9回裏2死2・3塁の場面で左翼ポール際へ劇的な逆転3ランホームランを放ち、Aクラス入りを激しく争うチーム同士の戦いに勝利をもたらす大きな一打となった。

4連勝と絶好調をキープする中日は、8回表に1点差とされてなおも続く2死2・3塁の場面、阪神原口選手によるセンターへのタイムリーヒットで逆転を許してしまう。このまま試合終了となれば6回終了時にリードしていた場合の連勝記録(31連勝中)が途絶える中、迎えた9回裏、中日は京田選手の四球、遠藤選手の左前安打で連続出塁し、相手チームの失策が絡み、2死2・3塁と逆転サヨナラのチャンスを作る。ここで打席に向かうは主将の高橋選手。カウント1-1からの3球目、阪神の守護神スアレス投手が投じた159km/hの直球を振り抜き、打球はレフト左翼ポール際へ突き刺さった。高橋選手は、プロ9年目で初のサヨナラ打となった。

中日からのスカパー！サヨナラ賞受賞は、2016年3、4月度の杉山選手以来となり4年振り。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

井上 晴哉
(千葉ロッテマリーンズ)
初受賞

井上選手は、10月13日(火)ZOZOマリンスタジアムで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス19回戦、同点で迎えた9回裏1死1塁の場面で右中間を破るサヨナラ二塁打を放った。

首位福岡ソフトバンクを猛追し、負けられない戦いが続く千葉ロッテだが、この試合は5回を終えて0対3とリードを許す苦しい展開となった。しかしここから粘りを見せ6回以降1点ずつ返し8回を終え3対3の同点に追いつく。そのまま同点で迎えた9回裏、1死から福田秀選手がレフト前へ安打を打ち出塁すると、井上選手が打席に立つ。10月上旬に新型コロナウイルス感染のため主力選手が多数離脱した千葉ロッテの中で、残された主力としてチームを引っ張って来た井上選手だが、打撃状態は下降線を辿っていた。この試合の打順は、長く任されていた五番から七番に下がり、ここまで3打数無安打と苦しい状況であったが、カウント0-1からの2球目を振りぬくと打球は右中間を真っ二つ。スタートを切っていた一塁走者の福田秀選手の激走もあり、劇的なサヨナラ勝利となった。二塁ベース上で仲間からもみくちゃにされた井上選手の目には涙が溢れていた。

井上選手のサヨナラ打は通算3本目。初のスカパー！サヨナラ賞受賞。



月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柿田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B.レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B.レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B.レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (ヤクルト)	J. アマダー (楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島)	A.デスパイネ (ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
5月度	山下 幸輝 (DeNA)	清田 育宏 (ロッテ)
6月度	山田 哲人 (ヤクルト)	上林 誠知 (ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島)	山下 斐紹 (楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島)	Y.グラシアル (ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (ヤクルト)	中田 翔 (日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (ロッテ)
9、10月度	N. ソト (DeNA)	E. メヒア (西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (ヤクルト)	A. ロドリゲス (オリックス)
8月度	上本 崇司 (広島)	山川 穂高 (西武)
9月度	吉川 尚輝 (巨人)	茂木 栄五郎 (楽天)
10、11月度	高橋 周平 (中日)	井上 晴哉 (ロッテ)

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
2018年度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)

